

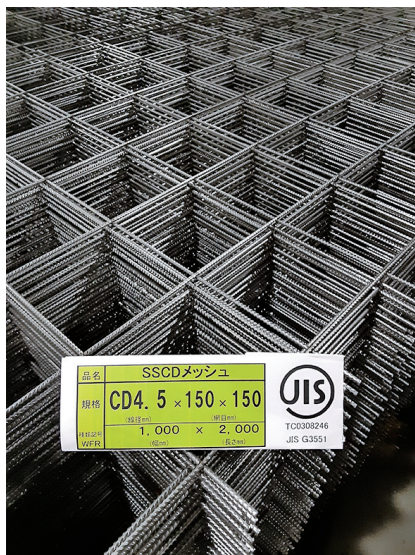
# CD4.5メッシュの販売好調

## JIS規格品への置換促す

溶接金網の業界最大線径を細系化したことで、変形した地形にも手、昭和産業グループ2割ほど軽量化し、敷き容量に施工ができる。線（本社・茨城県筑西市、社長・小林正樹氏）が製造するJIS規格品の線径4.5ミリのCDメッシュ（異形鉄線を使った溶接金網）「SSCD4.5×150」＝写真＝の

販売が好調だ。今春のリリース後の納入面積は累計100万平方メートルに到達した。

SSCD4.5×150は、通常の線径5ミリの丸メッシュに比べて表面積が大きく、コンクリートとの附着性能が高い。



はリリース直後の月産2〜3万枚ペースから足元では月産10万枚（20万平方メートルペースまで急増している）。

小林社長は「ホームセンターや一部の金物店で流通している規格外の非JIS品メッシュからの置き換えを促進するためにも、さらなる拡販に向けて設備増強を進めている」としている。

また同社ではこのほど会社ホームページをリニューアルした。製品写真と概要を記載した製品一覧ページを刷新、コンテンツを充実させた。製品別と用途別から検索することができ、閲覧者が知りたい情報にアクセスしやすい構成となっている。またCSR活動のページを開設。SDGs取り組みや社会貢献活動なども紹介している。

